

平成29年10月20日

重要伝統的建造物群保存地区の選定について

文化審議会（会長 まぶち あきこ 馬渕 明子）は、平成29年10月20日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに2地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、重要伝統的建造物群保存地区は、117地区となる予定です。

重要伝統的建造物群保存地区の新規選定

名 称	所 在 地	選定基準
<small>ふくやましともちょう</small> 福山市 鞆 町 伝統的建造物群保存地区	広島県福山市	（二）
<small>きつきしきただいみなみだい</small> 杵築市北台 南 台 伝統的建造物群保存地区	大分県杵築市	（二）

◎今回の答申における特筆すべきもの

ふくやましともちょう  
福山市 鞆 町 伝統的建造物群保存地区

広島県福山市

福山市鞆町は、古来より海上交通の大動脈であった瀬戸内海の港町で、周辺の島々と共に成す海域の美しさは、「鞆の浦」として万葉集にも歌われている。今回、重要伝統的建造物群保存地区として選定するのは、江戸時代の町人地のうち、廻船業の中核を成し、近代以降の地割の変化が少なく、江戸時代の町家主屋が寺社、石垣等の石造物、港湾施設などと共に良く残る面積約8.6ヘクタールの範囲である。

＜担当＞ 文化庁文化財部参事官（建造物担当）

参事官 豊城 浩行 （内線 2790）

伝統的建造物群部門 下間 久美子，稲垣 智也，

佐藤 直志 （内線 2794）

登録係 貴志 徹 （内線 2738）

電話：03-5253-4111（代表），03-6734-2792（直通）

【参考資料】

・重要伝統的建造物群保存地区の数

	現在	新規選定	累 計
重要伝統的建造物群保存地区数	1 1 5 地区	2 地区	1 1 7 地区
（所在都道府県数）	4 3 道府県	（2 県）	4 3 道府県
（所在市町村数）	9 5 市町村	2 市	9 7 市町村

※新規選定における（ ）内の数字は、左欄の内数

・重要伝統的建造物群保存地区選定基準（昭和 50 年 11 月 20 日文部省告示第 157 号）

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

（一）伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの

（二）伝統的建造物群及び地割ちわりがよく旧態を保持しているもの

（三）伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

## 新規選定 1 万葉の時代より潮待ちの港として栄えた瀬戸内海の港町

### ふくやましともちよう 福山市鞆町伝統的建造物群保存地区

所在地 福山市鞆町<sup>とも にしまち</sup>鞆字西町の全域並びに鞆字<sup>いしちよう</sup>石井町，字<sup>せきちよう</sup>関町，字<sup>えのうら</sup>江之浦，字<sup>みちごえちよう</sup>道越町，字<sup>こじようあと</sup>古城跡，後地<sup>うしろじ</sup>字古城跡及び<sup>くさたに</sup>字草谷の各一部

面積 約 8.6 ヘクタール

広島県福山市鞆町は、瀬戸内海に突き出た<sup>ぬまくま</sup>沼隈半島南東部の港町で、その中心の鞆は、江戸時代の町人地を引き継ぐ。潮待ちの港としての好条件を備え、古来より海上交通の要衝として栄えた。周辺の島々と共に成す景勝は、「鞆の浦」として万葉集にも歌われている。

室町時代後期には、すでに相当の町場が形成されており、<sup>けいちよう</sup>慶長 5 年（1600）に<sup>あき</sup>安芸・<sup>びんご</sup>備後両国を領した<sup>ふくしままさのり</sup>福島正則が、海を見渡す小丘の鞆城を中心に城下町としての整備を行い、鞆城北麓は武家地、南麓から東麓にかけては町人地とされた。<sup>げんな</sup>元和 5 年（1619）から<sup>げんろく</sup>元禄 11 年（1698）までの水野氏の時代には、福山に城下町が整備されて、鞆には<sup>ぶぎようしよ</sup>奉行所や<sup>ふなばんしよ</sup>船番所などが置かれ、港町としての性格を強めていった。この頃までに町人地は 7 町に区分され、18 世紀初頭には現在の市街地の基礎が整った。江戸中期の 7 町の人口は、5,800 人規模である。

保存地区は、江戸時代の町人地のうち、<sup>かいせんぎよう</sup>廻船業の中核を成し、近代以降の地割の変化が少なく、江戸時代の町家主屋が良く残る 8.6 ヘクタールの区域である。2 間を標準とする狭い間口の敷地が集積する一方、隣接地を買い取りながら敷地を拡大した商家も見られ、その代表例として重要文化財<sup>おおたけじゆうたく</sup>太田家住宅及び<sup>ちようそうてい</sup>太田家住宅朝宗亭がある。町家主屋は、<sup>きりづまづくり</sup>切妻造、<sup>ひらいり</sup>平入、2 階建を基本とする。正面に「オダレ」と呼ぶ<sup>げや</sup>下屋を設け、<sup>ほんがわらぶき</sup>本瓦葺とするのが江戸時代から明治時代に続く古い形式で、庇が連なる景観を特徴の一つとする。

寺社の境内には建物と共に<sup>いしがき</sup>石垣や<sup>とうろう</sup>燈籠、<sup>せきひ</sup>石碑等の石造物が残り、<sup>ふくぜんじほんどう</sup>福禅寺本堂及び<sup>きやくでん</sup>客殿<sup>たいちようろう</sup>対潮楼は史跡「<sup>ちようせんつうしんしせき</sup>朝鮮通信使遺跡」として知られる。港には、江戸後期から明治前期までに整備された、<sup>がんぎ</sup>雁木や<sup>ふなつなぎいし</sup>船繋石、<sup>じようやとう</sup>常夜燈、<sup>はまぐら</sup>浜蔵が残る。

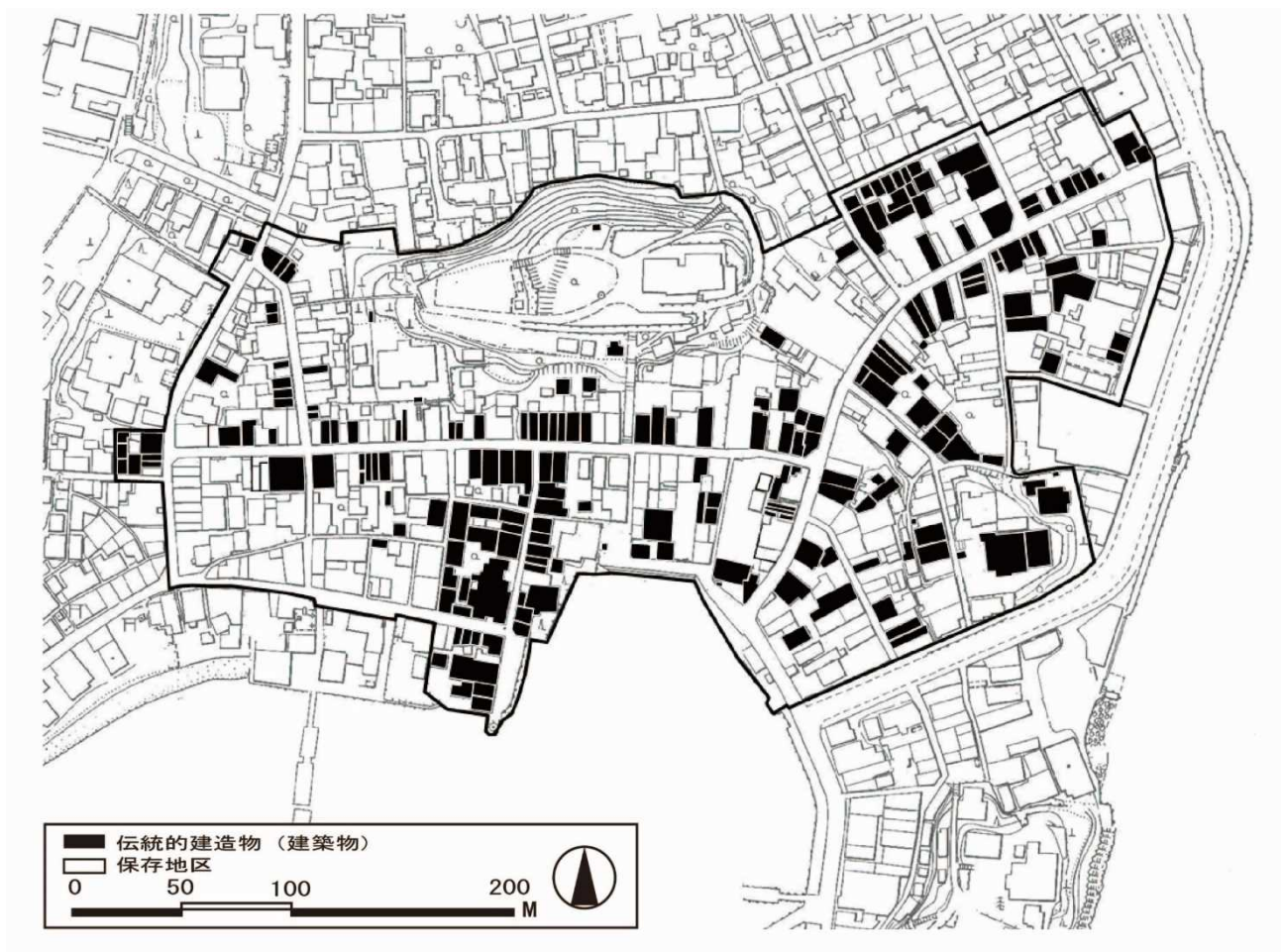
福山市鞆町伝統的建造物群保存地区には、中世の骨格を引き継ぎながら江戸中期までに整えられた地割に、江戸時代からの伝統的な町家や寺社、石垣等の石造物、港湾施設などが一体となって良好に残る。瀬戸内の港町としての歴史的風致を良く伝え、我が国にとって価値が高い。



【上】旧湊浜（現在の鞆港）と旧東浜を結ぶ通り沿いの町並み

【右】鞆港に至る小路沿いの土蔵が並ぶ景観

（上、右とも写真提供は福山市教育委員会）



福山市鞆町伝統的建造物群保存地区の範囲

## 新規選定２ 谷が分かつ南北の台地に築かれた、坂が特徴的な武家町

### 杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区

所在地 大分県杵築市大字南杵築字本丁及び字カブト石の全域並びに大字杵築字  
下町、字谷町、字北台、大字南杵築字梅ヶ小路、字台茶屋及び字裏丁の各  
一部

面積 約１６．１ヘクタール

国東半島南部に位置する大分県杵築市の中心市街地は、杵築藩の城下町を引き継ぐ。杵築は大友氏配下の木付氏の本拠であったが、文禄２年（１５９３）に豊臣秀吉の蔵入地となり、慶長５年（１６００）には細川忠興の支配下に入った。正保２年（１６４５）に松平英親が入封した後は、幕末まで松平氏が藩を治めた。小藩ながらも１７世紀後期より七島蘭の生産で経済基盤を築き、教育が盛んで、多くの文人を輩出している。

城下町は、細川忠興家臣で城代の松井康之が慶長期に縄張りをし、１７世紀半ば、松平英親の時代に地割が概ね整った。守江湾に突き出す丘陵北麓に藩主の居館が置かれ、その西方の海蝕崖で囲まれた台地は武家地、台地を囲む低地は町人地とされた。台地は谷で南北に分けられ、北部は北台、南部は南台と呼ばれる。南台の西端には寺地が配された。

町人地は戦後に道路拡幅がなされたものの、北台と南台の武家地は住宅地として今日に至り、正保以来の藩政期の地割を良好に留めている。

保存地区は、北台及び南台の旧武家地から成る約１６．１ヘクタールの範囲である。両台とも江戸時代に数度の大火があったが、その都度再建され、江戸末期の武家屋敷を良く残す。

北台と南台の周縁には要所に坂が切り通され、台地上には家老丁、本丁、裏丁等の区画がなされて、主に高禄の家臣の屋敷地が配された。敷地は石垣で造成して土塀などで囲い、通りに面して長屋門や薬医門で門口を開く。武家住宅の主屋は茅葺や瓦葺で、式台を構えて格式を示し、主屋と門の間には前庭を配してソテツやマツを植える。

杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区は、南北台地上に区画された杵築城下の武家地で、藩政期の地割を踏襲し、近世武家住宅の主屋と門及び、その形式を受け継いだ近代の住宅主屋を伝統的建造物として良く残す。高低差のある地形を生かして天然の要害を成し、坂を巧みに配して武家地を結節する縄張りは、石垣や石段、土塀などによって雄大な景観として表われ、その独特な歴史的風致は我が国にとって価値が高い。

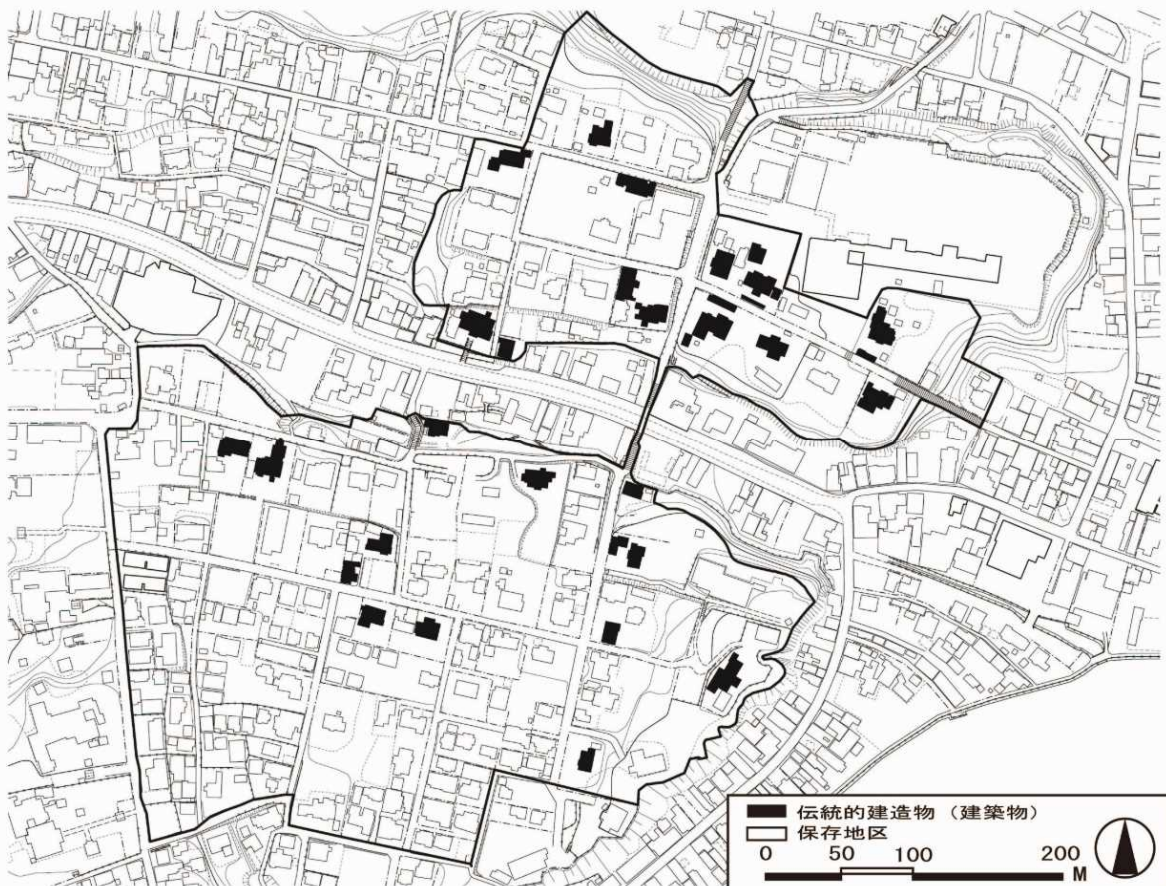




【上】江戸時代の重臣の屋敷が並ぶ北台の町並み



【右】北台（写真奥）と南台（写真手前）を結ぶ坂



杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区の範囲

(参考) 重要伝統的建造物群保存地区一覧 (官報告示後)

No	都道府県	地 区 名 称	種 別	選定年月日 (拡大年月日)	選定 基準	面積 (ha)
1	北海道	函館市元町末広町	港町	平 1. 4. 21	(三)	14. 5
2	青森	弘前市仲町	武家町	昭 53. 5. 31	(二)	10. 6
3	青森	黒石市中町	商家町	平 17. 7. 22	(一)	3. 1
4	岩手	金ヶ崎町城内諏訪小路	武家町	平 13. 6. 15	(二)	34. 8
5	宮城	村田町村田	商家町	平 26. 9. 18	(一)	7. 4
6	秋田	横手市増田	在郷町	平 25. 12. 27	(二)	10. 6
7	秋田	仙北市角館	武家町	昭 51. 9. 4	(二)	6. 9
8	福島	下郷町大内宿	宿場町	昭 56. 4. 18	(三)	11. 3
9	福島	南会津町前沢	山村集落	平 23. 6. 20	(三)	13. 3
10	茨城	桜川市真壁	在郷町	平 22. 6. 29	(二)	17. 6
11	栃木	栃木市嘉右衛門町	在郷町	平 24. 7. 9	(二)	9. 6
12	群馬	桐生市桐生新町	製織町	平 24. 7. 9	(二)	13. 4
13	群馬	中之条町六合赤岩	山村・養蚕集落	平 18. 7. 5	(三)	63. 0
14	埼玉	川越市川越	商家町	平 11. 12. 1	(一)	7. 8
15	千葉	香取市佐原	商家町	平 8. 12. 10	(三)	7. 1
16	新潟	佐渡市宿根木	港町	平 3. 4. 30	(三)	28. 5
17	富山	高岡市山町筋	商家町	平 12. 12. 4	(一)	5. 5
18	富山	高岡市金屋町	鋳物師町	平 24. 12. 28	(一)	6. 4
19	富山	南砺市相倉	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	18. 0
20	富山	南砺市菅沼	山村集落	平 6. 12. 21	(三)	4. 4
21	石川	金沢市東山ひがし	茶屋町	平 13. 11. 14	(一)	1. 8
22	石川	金沢市主計町	茶屋町	平 20. 6. 9	(一)	0. 6
23	石川	金沢市卯辰山麓	寺町	平 23. 11. 29	(二)	22. 1
24	石川	金沢市寺町台	寺町	平 24. 12. 28	(二)	22. 0
25	石川	輪島市黒島地区	船主集落	平 21. 6. 30	(二)	20. 5
26	石川	加賀市加賀橋立	船主集落	平 17. 12. 27	(二)	11. 0
27	石川	加賀市加賀東谷	山村集落	平 23. 11. 29	(三)	151. 8
28	石川	白山市白峰	山村・養蚕集落	平 24. 7. 9	(三)	10. 7
29	福井	小浜市小浜西組	商家町・茶屋町	平 20. 6. 9	(二)	19. 1
30	福井	若狭町熊川宿	宿場町	平 8. 7. 9	(三)	10. 8
31	山梨	甲州市塩山下小田原上条	山村・養蚕集落	平 27. 7. 8	(三)	15. 1
32	山梨	早川町赤沢	山村・講中宿	平 5. 7. 14	(三)	25. 6
33	長野	長野市戸隠	宿坊群・門前町	平 29. 2. 23	(二)	73. 3

34	長野	塩尻市奈良井	宿場町	昭 53. 5. 31	(三)	17. 6
35	長野	塩尻市木曾平沢	漆工町	平 18. 7. 5	(二)	12. 5
36	長野	千曲市稲荷山	商家町	平 26. 12. 10	(二)	13. 0
37	長野	東御市海野宿	宿場・養蚕町	昭 62. 4. 28	(一)	13. 2
38	長野	南木曾町妻籠宿	宿場町	昭 51. 9. 4	(三)	1, 245. 4
39	長野	白馬村青鬼	山村集落	平 12. 12. 4	(三)	59. 7
40	岐阜	高山市三町	商家町	昭 54. 2. 3 (平 9. 5. 29)	(一)	4. 4
41	岐阜	高山市下二之町大新町	商家町	平 16. 7. 6	(一)	6. 6
42	岐阜	美濃市美濃町	商家町	平 11. 5. 13	(一)	9. 3
43	岐阜	恵那市岩村町本通り	商家町	平 10. 4. 17	(三)	14. 6
44	岐阜	郡上市郡上八幡北町	城下町	平 24. 12. 28	(三)	14. 1
45	岐阜	白川村荻町	山村集落	昭 51. 9. 4	(三)	45. 6
46	静岡	焼津市花沢	山村集落	平 26. 9. 18	(三)	19. 5
47	愛知	名古屋市有松	染織町	平 28. 7. 25	(一)	7. 3
48	愛知	豊田市足助	商家町	平 23. 6. 20	(一)	21. 5
49	三重	亀山市関宿	宿場町	昭 59. 12. 10	(三)	25. 0
50	滋賀	大津市坂本	里坊群・門前町	平 9. 10. 31	(三)	28. 7
51	滋賀	彦根市河原町芹町地区	商家町	平 28. 7. 25	(二)	5. 0
52	滋賀	近江八幡市八幡	商家町	平 3. 4. 30	(一)	13. 1
53	滋賀	東近江市五個荘金堂	農村集落	平 10. 12. 25	(三)	32. 2
54	京都	京都市上賀茂	社家町	昭 63. 12. 16	(三)	2. 7
55	京都	京都市産寧坂	門前町	昭 51. 9. 4 (平 8. 7. 9)	(三)	8. 2
56	京都	京都市祇園新橋	茶屋町	昭 51. 9. 4	(一)	1. 4
57	京都	京都市嵯峨鳥居本	門前町	昭 54. 5. 21	(三)	2. 6
58	京都	南丹市美山町北	山村集落	平 5. 12. 8	(三)	127. 5
59	京都	伊根町伊根浦	漁村集落	平 17. 7. 22	(三)	310. 2
60	京都	与謝野町加悦	製織町	平 17. 12. 27	(二)	12. 0
61	大阪	富田林市富田林	寺内町・在郷町	平 9. 10. 31	(一)	11. 2
62	兵庫	神戸市北野町山本通	港町	昭 55. 4. 10	(一)	9. 3
63	兵庫	豊岡市出石	城下町	平 19. 12. 4	(二)	23. 1
64	兵庫	篠山市篠山	城下町	平 16. 12. 10	(二)	40. 2
65	兵庫	篠山市福住	宿場町・農村集落	平 24. 12. 28	(三)	25. 2
66	兵庫	養父市大屋町大杉	山村・養蚕集落	平 29. 7. 31	(三)	5. 8
67	奈良	橿原市今井町	寺内町・在郷町	平 5. 12. 8	(一)	17. 4
68	奈良	五條市五條新町	商家町	平 22. 12. 24	(一)	7. 0
69	奈良	宇陀市松山	商家町	平 18. 7. 5	(一)	17. 0



70	和歌山	湯浅町湯浅	醸造町	平 18. 12. 19	(二)	6. 3
71	鳥取	倉吉市打吹玉川	商家町	平 10. 12. 25 (平 22. 12. 24)	(一)	9. 2
72	鳥取	大山町所子	農村集落	平 25. 12. 27	(三)	25. 8
73	島根	大田市大森銀山	鉱山町	昭 62. 12. 5 (平 19. 12. 4)	(三)	162. 7
74	島根	大田市温泉津	港町・温泉町	平 16. 7. 6 (平 21. 12. 8)	(二)	36. 6
75	島根	津和野町津和野	武家町・商家町	平 25. 8. 7	(二)	11. 1
76	岡山	倉敷市倉敷川畔	商家町	昭 54. 5. 21 (平 10. 12. 25)	(一)	15. 0
77	岡山	津山市城東	商家町	平 25. 8. 7	(一)	8. 1
78	岡山	高梁市吹屋	鉱山町	昭 52. 5. 18	(三)	6. 4
79	広島	呉市豊町御手洗	港町	平 6. 7. 4	(二)	6. 9
80	広島	竹原市竹原地区	製塩町	昭 57. 12. 16	(一)	5. 0
<b>81</b>	<b>広島</b>	<b>福山市鞆町</b>	<b>港町</b>	<b>—</b>	<b>(二)</b>	<b>8. 6</b>
82	山口	萩市堀内地区	武家町	昭 51. 9. 4 (昭 53. 5. 31)	(二)	55. 0
83	山口	萩市平安古地区	武家町	昭 51. 9. 4 (平 5. 12. 8)	(二)	4. 0
84	山口	萩市浜崎	港町	平 13. 11. 14	(二)	10. 3
85	山口	萩市佐々並市	宿場町	平 23. 6. 20	(二)	20. 8
86	山口	柳井市古市金屋	商家町	昭 59. 12. 10	(一)	1. 7
87	徳島	美馬市脇町南町	商家町	昭 63. 12. 16	(一)	5. 3
88	徳島	三好市東祖谷山村落合	山村集落	平 17. 12. 27	(三)	32. 3
89	徳島	牟岐町出羽島	漁村集落	平 29. 2. 23	(三)	3. 7
90	香川	丸亀市塩飽本島町笠島	港町	昭 60. 4. 13	(三)	13. 1
91	愛媛	西予市宇和町卯之町	在郷町	平 21. 12. 8	(二)	4. 9
92	愛媛	内子町八日市護国	製蠟町	昭 57. 4. 17	(三)	3. 5
93	高知	室戸市吉良川町	在郷町	平 9. 10. 31	(一)	18. 3
94	高知	安芸市土居廓中	武家町	平 24. 7. 9	(二)	9. 2
95	福岡	八女市八女福島	商家町	平 14. 5. 23	(二)	19. 8
96	福岡	八女市黒木	在郷町	平 21. 6. 30	(三)	18. 4
97	福岡	うきは市筑後吉井	在郷町	平 8. 12. 10	(三)	20. 7
98	福岡	うきは市新川田竈	山村集落	平 24. 7. 9	(三)	71. 2
99	福岡	朝倉市秋月	城下町	平 10. 4. 17	(二)	58. 6
100	佐賀	鹿島市浜庄津町浜金屋町	港町・在郷町	平 18. 7. 5	(二)	2. 0
101	佐賀	鹿島市浜中町八本木宿	醸造町	平 18. 7. 5	(一)	6. 7
102	佐賀	嬉野市塩田津	商家町	平 17. 12. 27	(二)	12. 8
103	佐賀	有田町有田内山	製磁町	平 3. 4. 30	(三)	15. 9
104	長崎	長崎市東山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	7. 5

105	長崎	長崎市南山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	17. 0
106	長崎	平戸市大島村神浦	港町	平 20. 6. 9	(二)	21. 2
107	長崎	雲仙市神代小路	武家町	平 17. 7. 22	(二)	9. 8
108	大分	日田市豆田町	商家町	平 16. 12. 10	(二)	10. 7
<b>109</b>	<b>大分</b>	<b>杵築市北台南台</b>	<b>武家町</b>	<b>—</b>	<b>(二)</b>	<b>16. 1</b>
110	宮崎	日南市飫肥	武家町	昭 52. 5. 18	(二)	19. 8
111	宮崎	日向市美々津	港町	昭 61. 12. 8	(二)	7. 2
112	宮崎	椎葉村十根川	山村集落	平 10. 12. 25	(三)	39. 9
113	鹿児島	出水市出水麓	武家町	平 7. 12. 26	(二)	43. 8
114	鹿児島	薩摩川内市入来麓	武家町	平 15. 12. 25	(二)	19. 2
115	鹿児島	南九州市知覧	武家町	昭 56. 11. 30	(二)	18. 6
116	沖縄	渡名喜村渡名喜島	島の農村集落	平 12. 5. 25	(三)	21. 4
117	沖縄	竹富町竹富島	島の農村集落	昭 62. 4. 28	(三)	38. 3
<b>43 道府県 97 市町村 117 地区</b>				<b>—</b>	<b>—</b>	<b>3,908 ha</b>